

パラリンピックを中心とした スポーツにおける障害者支援の実際

香田泰子先生

筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 教授

令和3年11月11日（木）18:30～20:30

ウェブセミナーにて開催

先日開催された東京2020パラリンピック競技大会での日本選手の活躍や、身体状況に応じて発揮する選手のパフォーマンスは、多くの人々に勇気を与えパラスポーツへの関心を高めたと思われます。パラリンピックは第2次世界大戦による脊髄損傷者のリハビリテーションの一環として始まりましたが、徐々に進化してきました。選手と彼らを取り巻く多くのパートナーや支援者が関わっています。パラリンピックを中心とした障害者スポーツとそこでの支援の実際を紹介したいと思ひます。

今回の勉強会では、筑波技術大学の香田泰子先生に「パラリンピックを中心としたスポーツにおける障害者支援の実際」の演題で、お話ししていただく予定です。ウェブセミナー受講希望の方は、11月4日（木）までに下記QRコード・URLからお申し込み下さい。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部と茨城県理学療法士会の後援を受けています。この講演会に参加されると、日本プライマリ・ケア連合学会 認定医1単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

また人間総合科学学術院専門基盤科目とフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（プライマリ・ケア）の一部となっています。

【申込みフォーム】

<https://forms.gle/P3ap34KNJMDWALQu5>



連絡先：筑波大学医学医療系 福祉医療学
柳 久子 TEL&FAX：029-853-3496